

目 次

日本ウマ科学会 第31回学術集会 JRA・日本ウマ科学会 合同シンポジウム 2018年12月4日(国際ファッションセンター KFC Hall) 座長：松田芳和(JRA馬事部)・中西信吾(日本軽種馬協会) テーマ：競馬産業の国際化—これまでの取組みと将来—	1
講演	
日本のPartI国入りまでの道のり	山野辺 啓 (JRA馬事部) 2
「JPN」を国際ブランドに	松田 薫 (日本軽種馬協会業務部) 10
施設面から見た各国の競馬場	高田順一 (JRA施設部) 14
安全な国際間移動の仕組みづくり	山中隆史 (JRA馬事部) 19
海外から見た日本競馬	吉田直哉 (ウインチェスターファーム) 23
総合討論	28
書籍紹介	32
Journal of Equine Science Vol. 30 No. 3, September 2019 和文要約	33
お知らせ	35
協賛団体名・賛助会員名簿	36
Hippophile 投稿に関する基準	37
編集後記	

Hippophile No. 78

- 編集委員 -

編集担当常任理事・編集委員長	楠瀬 良 (日本装蹄協会)	
編集委員	相川 貴志 (地方競馬全国協会)	関 正喜 (ジャーナリスト)
	荒川由紀子 (農林水産省)	永井富美子 (エディター)
	有吉 正徳 (朝日新聞社)	沼田 恭子 (NPO法人引退馬協会)
	石田 信繁 (JRA競走馬総合研究所)	古林 英一 (北海学園大学)
	北野あづさ (日本馬術連盟)	三浦 暁子 (エッセイスト)
	木村李花子 (東京農業大学)	守谷 久 (ジャーナリスト)
	近藤 誠司 (北海道大学)	山口 洋史 (全国乗馬倶楽部振興協会)
	末崎 真澄 (馬の博物館)	山下 大輔 (日本馬事協会)
	杉本 篤信 (地方競馬全国協会)	

表紙絵：騎手 (The Jockey): アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック (1864-1901) 1899年 49.8×34.1センチ多色刷り
リトグラフ 馬の博物館蔵

「騎手」は、晩年に近い療養中に一連のサーカスシリーズとともに表した作品である。ロートレックは、少年の頃に父親とともに乗馬をし、競馬場にもしばしば通った経験があり、晩年に再びその情景を思い巡らしている。後ろ姿の騎手は、あるいは馬と競馬を愛した父と自分の姿を映し出しているのかもしれない。